

書牘卷之二(九)

地所^賣壳渡手附金請取証文^證

覚^覺

一、金何百円也、^圓

是ハ何大区^區何小区^區何町何番地、^賣壳渡候定約ニテ、

本価何千円之内手附、^圓

右拙者所持之地所、此度貴

殿ニ^賣壳渡候^對対談相済、^豫予

而書替願置候地券、御渡ニ

相成候まで、証^據拠として、書

面之手附金受取申所実正

也、後日のため、証^證書さし入

候也、

明治何年何月何日

^賣壳渡人 何某

^證証人 何某

何某殿

※拠の旧字体は據ですが、このくずし字は手偏に處のくずし字を当てています。

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。